



2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 BRUNO株式会社
コード番号 3140 URL <https://bruno-inc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営情報部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5446-9505
(氏名) 森 正人
(氏名) 松原 元成

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	9,924		250		104		195	
2023年6月期第3四半期								

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 194百万円 (%) 2023年6月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	13.61	
2023年6月期第3四半期		

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しているため、2023年6月期第3四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	10,988	5,225	47.5
2023年6月期			

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 5,349百万円 2023年6月期 百万円

(注) 2023年6月期は連結決算を行っていないため、2023年6月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		4.00	4.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600		270		120		185		12.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2024年6月期第1四半期より連結決算に移行いたしました。2023年6月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	14,717,350 株	2023年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	374,715 株	2023年6月期	374,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	14,342,635 株	2023年6月期3Q	14,342,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「繰延税金資産の一部取り崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、2023年8月14日付けにおいて公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細については、「繰延税金資産の一部取り崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2024年5月15日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2023年7月31日付で株式会社ジャパングヤルズの全株式を取得し連結子会社化したことにより、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年7月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、個人消費やインバウンド需要が回復する等緩やかな社会経済活動の正常化が進みました。また、2024年に入ると、雇用・所得環境の改善や、企業の設備投資が増える等内需回復が進み、経済の好循環が定着していくとみられています。一方、長期に渡るウクライナ、中東情勢等の影響による原材料やエネルギーコストの高騰、1ドル150円を超える円安が進む等、依然として先行きの不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループ第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、旅行需要およびインバウンド需要が拡大したことからトラベル商品の売上が好調に推移しました。海外販売につきましては中国に子会社を設立し直接販売体制の準備が完了、本格的な運用を開始しました。また、2023年2月より販売開始した「BRUNOカタログギフト」は好調に推移し2024年3月は過去最高の単月販売額となりました。

カタログギフト販売においては、販売好調の要因として、1万円、1万5千円、2万円の3つのコースに加え、ギフトニーズに合わせた5千円コースを追加し4つのコースを展開したこと、また、「BRUNOカタログギフト」は、贈り手が相手の好みに合わせた商品を選択出来る点、おしゃれなデザインのキッチン家電や雑貨が豊富である点から、新生活のギフト等にて好評を得たことが売上の伸びにつながりました。今後一層カタログギフトの販売を拡大するために、様々なシーンで「BRUNOカタログギフト」を利用していただけるようサービスを拡充し、ギフト需要を取込んでいきます。

また、海外販売においては売上拡大を図るため、販売戦略として代理店販売から直接販売へ切り替えを進めており、2023年11月に中国ECサイトを立ち上げ、現在は4つのECサイトを展開しております。商品戦略としては既存オリジナル商品に加え、中国市場の「お一人様経済」に合わせた、エアフライヤー、ミニ炊飯器、豆乳メーカー等の小型キッチン家電販売を開始いたしました。これらの海外戦略により中国市場での売上は伸びております。今後も中国市場にマッチした商品開発や、サイズやカラーバリエーションの追加等商品展開を進めて、さらなる販売拡大を目指していきます。

『BRUNO』ブランド商品は、水筒・ボトル等のアウトドア関連商品や季節家電の売上が好調に推移しました。一方、コンパクトホットプレート等のキッチン家電の売上は、コロナ特需の反動もあり前年比で下回ったことから、全体的に『BRUNO』の売上高は前年同期比で85%にとどまりました。

トラベル商品ブランド『MILESTO』は、インバウンド需要や、トラベル需要を取込むことで「キャリーバッグ」や「トラベルバッグ」など各種トラベル関連商品の売上が増加し、『MILESTO』の売上高は前年同期比142%と拡大しました。

これらの結果として、当グループの売上高は9,924百万円となりました。

利益につきましては、円安、原油・原材料高に起因する原価率上昇などの影響もあり、営業利益250百万円、経常利益104百万円、また、今後の業績を保守的に勘案し当第3四半期連結会計期間末における繰延税金資産を191百万円取り崩したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失195百万円となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業は、子会社ジャパングヤルズにおいて計画を上回った一方で、当社卸売販売の国内販売におきましては、Eコマース販売を主とする得意先および専門店を有する得意先においてコロナ特需の反動から売上は減少しました。また海外販売は、前述の通り中国等における販売体制の変更等の影響もあり売上が減少いたしました。中国市場での販売戦略及び商品戦略を本格的に展開しております。結果として住関連ライフスタイル商品製造卸売事業の売上高は5,048百万円、営業利益は386百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業は、Eコマース販売において自社ECサイトではカタログギフトの販売が好調に推移し売上を伸ばしました。一方、楽天、Amazon等のモールサイトはキッチン家電のコロナ特需の反動から前年同期比において売上が減少いたしました。運用改善等の効果により2024年1月以降は前年の売上を上回っております。結果としてEコマース販売の売上高は前年同期比96%となりました。直営店販売の売上高はインバウンド需要やトラ

ベル需要の取り込み、「キャリー」や「トラベルバッグ」などトラベル関連商品の売上が拡大、前年同期比124%となりました。これらの結果として、住関連ライフスタイル商品小売事業の売上高は4,850百万円、営業利益は711百万円となりました。

デザイン事業においては、売上高は25百万円、営業利益は25百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,988百万円となりました。

流動資産は、8,895百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が2,368百万円、受取手形及び売掛金が1,844百万円、商品及び製品が2,763百万円、短期貸付金が1,269百万円となっております。

固定資産は、2,092百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が214百万円、無形固定資産が1,520百万円、投資その他の資産が357百万円となっております。

流動負債は、3,049百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が692百万円、短期借入金が1,225百万円、1年内返済予定の長期借入金が332百万円となっております。

固定負債は、2,714百万円となりました。その主な内訳は、長期未払金2,000百万円、長期借入金688百万円となっております。

純資産は、5,225百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「繰延税金資産の一部取り崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、2023年8月14日付けにおいて公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細については、「繰延税金資産の一部取り崩しおよび業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,368
受取手形及び売掛金	1,844
商品及び製品	2,763
原材料及び貯蔵品	252
短期貸付金	1,269
その他	419
貸倒引当金	△21
流動資産合計	8,895
固定資産	
有形固定資産	
その他(純額)	214
有形固定資産合計	214
無形固定資産	
のれん	1,462
その他	58
無形固定資産合計	1,520
投資その他の資産	
繰延税金資産	223
その他	149
貸倒引当金	△15
投資その他の資産合計	357
固定資産合計	2,092
資産合計	10,988
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	692
短期借入金	1,225
1年内返済予定の長期借入金	332
未払法人税等	75
引当金	10
その他	712
流動負債合計	3,049
固定負債	
長期借入金	688
長期未払金	2,000
その他	26
固定負債合計	2,714
負債合計	5,763

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,509
資本剰余金	1,818
利益剰余金	1,978
自己株式	△82
株主資本合計	5,224
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	0
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益累計額合計	0
純資産合計	5,225
負債純資産合計	10,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,924
売上原価	5,508
売上総利益	4,416
販売費及び一般管理費	4,166
営業利益	250
営業外収益	
受取利息及び配当金	30
その他	13
営業外収益合計	43
営業外費用	
支払利息	19
株主関連費用	116
その他	52
営業外費用合計	189
経常利益	104
特別損失	
固定資産除却損	3
その他	0
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	101
法人税、住民税及び事業税	100
法人税等調整額	195
法人税等合計	296
四半期純損失(△)	△195
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△195

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2023年7月1日
至 2024年3月31日)

四半期純損失(△)	△195
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
為替換算調整勘定	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	△194
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(追加情報)

(組織再編を通じた繰越欠損金の引継ぎについて)

当社は、組織再編を通じて株式会社HAP i NSの繰越欠損金を引き継いだ上で利用できると判断し、当該繰越欠損金に係る繰延税金資産65百万円を認識しております。本件に関しては、法人税法に基づく税務処理に未確定な部分があることから、第三者である法務及び税務専門家等を起用して上記判断を行っております。

なお、当該未確定の税務処理と税務当局の最終的な法人税法の解釈が異なった場合には、翌期以降の法人税等の金額に重要な影響を与える可能性があります。